

# みうら学・海洋教育ネットワーク通信 NO.15 令和3年1月12日

## 「うまくできたかな？」 岬陽小学校3年生が海藻おしば教室を体験

12月14日（月）岬陽小学校の3年生22名が、海藻おしば教室に参加しました。子どもたちは、まず、DVD「ようこそ海の森へ」を見て、海藻の果たしている重要な役割について学習しました。子どもたちや教頭先生が、海藻になりきって演技をする場面もありました。



続いて、海藻おしばづくりの作業に移りました。台紙となるはがきを水に浸し、その上に海藻を、つまようじなどで丁寧に広げていきます。各自が思い思いのデザインを考え、素敵な作品ができました。作品は、1週間後くらいに、乾燥、パウチされて学校に届くそうです。

「自分でしおりを作りたい」、「やってみたら、意外に楽しくできた」等の声も聞かれました。

日本海洋レジャー安全・振興協会や海藻おしば協会の皆さん、ご指導ありがとうございました。



## 名向小学校5年生の有志が、小パール隊を訪問 乗船体験も



12月10日（木）、名向小学校5年生の有志4名が、小パール隊を訪問しました。代表理事の出口さん、副理事長の日高さんが、子どもたちが用意した質問に丁寧に答えてくれました。「子どもは地域の宝」「三浦の海の凄さを知ってほしい」等、熱い思いを語ってくれました。また、アコヤガイの掃除等の世話の大変さも教えてくれました。現在、三重県や愛媛県のアコヤガイが被害を受けていて、その原因を調べるために、小網代から貝を大量に送っていることには驚きました。

2年前から取り組んでいるワインの海中熟成についても説明がありました。子どもたちは、ワインの栓を蜜蝋で固める作業（海水の侵入を防ぐためのもの）を体験させていただきました。（右の写真）

その後、出口さんの船で、乗船体験をさせていただきました。そして、先ほど子どもたちが蜜蝋を塗ったワインを、湾内に沈めました。（左下の写真）子どもたちは、



大喜びでした。太平洋戦争当時の震洋の防空壕なども船上から見学出来ました。（次号で写真を紹介します。）

子どもたちの表情は、生き生きとしていました。今回の体験で得た多くのことを、今後の学習に活かして行ってほしいと思いました。



みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、  
学校教育課まで 882-1111（内線428）